



平成 20 年 7 月 9 日

各 位

会社名 さくらインターネット株式会社
代表者名 代表取締役社長 田中 邦裕
(コード番号 3778 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 川田 正貴
(TEL. 06-6265-4830)

バックボーンネットワーク容量の追加増強に関するお知らせ

当社は、ユーザーの堅調なインターネット接続ニーズに応え、高い安定性と高いスループットの提供を継続して確保するため、基幹ネットワークであるバックボーンネットワークの容量に関して、増強を図っております。

当社は、このほどバックボーン容量について 137Gbps から 146Gbps へ増強し、本日その概要などについて別紙のとおり発表しましたので、お知らせいたします。

なお、本件が当社の業績に与える影響は軽微なものを見込んでおります。

以上

報道関係各位

2008年7月9日
さくらインターネット株式会社

さくらインターネット、バックボーンネットワークを増強 総容量 146Gbps に増強しコンテンツ配信能力をさらに強化

さくらインターネット株式会社（大阪府中央区、代表取締役社長：田中 邦裕 Tel：06-6265-4830）は、2008年7月9日、インターネットデータセンターを支える基幹ネットワークであるバックボーンネットワークの回線容量を、137Gbps から 146Gbps へ増強したことをお知らせいたします。

総務省の発表によると、国内のブロードバンドサービスの契約数は 2,875 万^{※1} と、インターネット接続環境のブロードバンド化は益々進展しております。また、コンテンツの増大・大容量化、SaaS などネットワークを介したサービスの拡大などにより、データセンターには継続的なコンテンツ配信能力強化が求められています。

当社は、従来よりコンテンツ配信能力に優れたデータセンターとして、日本最大クラスのバックボーンネットワークを構築・運用して参りました。その圧倒的なデータ配信力と価格競争力の優位性を活かし、SNS やブログ、動画共有サイトなど多くのトラフィックを集める人気コンテンツを保有するお客様にご好評いただいております。

既に昨年の国内インターネットトラフィックは 800Gbps^{※2} を超え、当社データセンターにも多くのトラフィックが集まっております。ビデオリサーチインタラクティブ社のインターネット視聴率調査（Web Report）によると、当社データセンターのアクセスシェアは約 10%^{※3}、総利用時間ベースでは実に 12%弱^{※4} の比率で当社データセンターで運用されるコンテンツが閲覧されています。

今年5月のバックボーンネットワークの増強に続き、この度さらに 9Gbps 増強し、コンテンツ配信能力を強化いたしました。今後も継続してバックボーンネットワークの増強を実施し、高品質かつコストパフォーマンスの高いサービスの提供を目指して参ります。

さくらインターネットのバックボーンネットワークの詳細につきましては、以下のウェブページをご覧ください。

http://www.sakura.ad.jp/about_sakura/backbone/

※1 出典：総務省「ブロードバンドサービスの契約数等（平成 20 年 3 月末）」（2008 年 6 月 17 日）

※2 出典：総務省「我が国のインターネットにおけるトラフィック総量の把握」（2008 年 2 月 21 日）

※3 一般家庭からのインターネット利用全体における当社管理 IP アドレスへのアクセスが占める割合

※4 インターネット総利用時間に対する、当社管理 IP アドレスにて運用されているコンテンツでの利用時間の比率（同時に複数コンテンツを閲覧する場合もあるため、割合（シェア）ではありません）

※5 3、4 共に株式会社ビデオリサーチインタラクティブ調べ（調査期間：2008 年 6 月 9 日～6 月 15 日の 1 週間）

■ さくらインターネット株式会社について

さくらインターネットは、大容量・高速バックボーンと自社運営のデータセンターを所有するインターネットサービス事業者です。高品質かつコストパフォーマンスの高いホスティング・ハウジングサービスの提供で支持を受け、ブログや SNS、動画共有サイトなどアクセスの多い人気コンテンツを多数お預かりし、約 10% のインターネットアクセスシェアを記録しています。

■ この報道資料の問い合わせ先

さくらインターネット株式会社 企画部 広報宣伝チーム

TEL：03-5339-9653 FAX:03-5339-9654

E-mail：press-ml@sakura.ad.jp URL：http://www.sakura.ad.jp

参考資料：

「当社バックボーンネットワーク回線容量推移」

